

賢く 優しく 遅しく



# 志木三小だより

学校運営協議会スローガン「ともに愛そう わがまち わが学校」

志木市立志木第三小学校

令和5年1月31日

志木市柏町3丁目2番1号

TEL 048-471-1062

## 小中一貫教育～学校の教育活動を振り返る～

校長 関根 久美子

学校教育についてのアンケートを実施し、保護者の方から228件ご回答いただきました。ありがとうございました。詳細については別にお知らせします。おおむね良好な評価をいただいたと思います。

また、先日は小中一貫教育に向けての地域説明会にご参加いただき、ありがとうございました。当日参加できなかった方も、リーフレット等で情報を得て、「どう変わるのか」「どんなメリットがあるのか」と、お考えのこととも思います。

志木中学区（志木中学校・志木小学校・本校）は今年度3回、小中合同研修会を行い、中学校を卒業する時に「どのような子になってほしいのか」目指す児童生徒像を共有しました。これまでも、小学校では、「教科における知識」「技能」だけを身につけさせていたわけではありません。「思いやりの心」や「努力する心」「健康に対する意識」「コミュニケーション」など全人的な発達を促してきました。志木三小も志木小も「子供たちのより良い成長」を目指して、「教科」だけでなく「すべての教育活動」を通して指導、支援をしてきました。けれども、その「切り口」は時に少し違っていたり、「手段」が異なっていたりしました。どちらかが「正しい」「違う」ということではなく、「目指す山の頂上は同じでも、登っていくルートが違う」ということです。今回の小中一貫教育では、この山の頂上を「中学校卒業時の児童生徒の姿」として3校で共有します。小学校同士で同じルートを通る方が教育効果があると思える「共通の手段・方法」を検討しています。学校施設は離れていても、共通の認識、理解をもって指導支援を行い、中学校で共に学ぶ時の「ギャップ」を解消し、円滑なスタートが切れるようにしていきます。また、小学校と中学校がこれまで以上に情報を共有し児童生徒の成長を支えていきます。何よりも、各校の教職員が、「一つの学校」という意識を持ち、教育活動を展開することが大事だと思います。これまでより多くの教職員で、小1から中3まで、「成長の道筋」を描きながら、指導に当たることができることがメリットです。勿論、保護者、地域の皆様はこれまでも、「一貫して」児童生徒を見守っていただきました。引き続き、小中だけでなく、社会で自立した人間になるように子供たちを見守ってください。

何か新しいことを始める時、始まる時、「不安なこと」もたくさんありますが「ワクワクする」「期待」の方がもっと、たくさんあります。本年度は、3校の教職員で「希望」と「期待」に胸を膨らませながら「できるところ」「しなければならないこと」を共有しています。令和5年度は「試行錯誤の年」。実施することで改善点が見えてきます。令和6年度は「修正と準備の年」。令和5年度に見つかった課題を修正し、改善して本格実施に備えます。令和7年度「本格実施」です。

「なんだ、何も変わらないじゃないか」と思われるかもしれません。教育は、外から見て明らかにわかるほど大きく変わってはいけません。「革命」は児童生徒を混乱させるだけです。けれども「内容」が「考え方」が「指導」が変わります。「改革」は児童生徒を、さらには教職員を成長させます。志木市の「児童生徒の本質的な成長」を考えた取組に、確かに「やることが山積み」ですけれども「楽しみ」ですし、「ワクワク」します。共に、新しい「学校」を作っていく時代の変革に立ち会えるのです。地域保護者の皆様も児童生徒のためにご理解、ご協力をお願いします。